

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍という事もあるが定期的開催が実施されていない。また金沢市への報告も滞っている	年6回以上の開催(報告)の達成	今年度はコロナ禍における来設制限の緩和(解禁)を予定 月間スケジュール管理・調整の徹底	12ヶ月
2	5	連絡を密に取り、情報提供等十分に行なっているとは言えない	普段から市担当者と積極的に交流・連携し、運営やサービスの課題解決に向けて協議していける関係づくり	運営推進会議以外でも相談・助言を市担当者に求める等、連携を深める努力を行う。オンライン等設備環境を整える(法人相談)	12ヶ月
3	38	火災や地震、水害等の災害時における職員の対応と地域との協力体制が不十分である。	自然災害に対して職員ができるだけ沈着冷静に判断・対応ができる。また災害状況や利用者の状態等の中で最善の安全が確保出来るよう再度マニュアルの見直しと訓練の実施	ホームの環境等に合わせた災害対策マニュアルの作成(見直し)と利用者の状態や自然災害等多様な状況に合わせた訓練の実施	12ヶ月
4	6	コロナ禍においてホーム内での行動が主となり、精神的・身体的に行動制限が強くなっている事を懸念している	ホームの方針として身体拘束を実施しないケアを継続	身体拘束に関する勉強会等の定期的開催する事で職員本位の介護に陥らないように努める。ご家族とホームの方針、リスク回避のマニュアル等開示面談を重ねご理解とご協力を求める	12ヶ月
5	20	コロナ禍により面会・外出の制限の中、ご家族や友人・知人といった馴染みの関係が大きく崩れたことで認知症進行に影響がでている	馴染みの人間関係の再構築を図り利用者の不安や不穏の軽減にて認知症の進行を抑える	面会・外出の制限緩和により利用者・家族・職員(ホーム)三者の信頼関係再構築に努める。また改めてホームでの生活状況を個別に発信出来るよう努める	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。